

## 第1回情報の管理の在り方に関する検討チーム 議事概要

### 1. 日時

平成26年3月18日（火）午後5時00分～午後5時20分

### 2. 場所

官邸5階西会議室

### 3. 出席者

内閣官房 杉田副長官、古谷副長官補、黒田内閣審議官、由木内閣審議官、  
梶田内閣審議官、谷脇内閣審議官

内閣府 幸田大臣官房長

総務省 若生行政管理局長

### 4. 概要

○ 初めに、杉田副長官から、情報の管理の在り方に関する検討チームの開催に当たっての挨拶があった。

○ 次に、由木内閣審議官及び梶田内閣審議官から、本検討チームの開催経緯等について説明があった。

由木内閣審議官からは、秘密文書の取扱いに関する一般的なルールは昭和40年4月の事務次官等会議申合せで定められているが、その後、情報公開法及び公文書管理法が施行されるなど、大きな状況の変化が生じていることを踏まえて、新たな統一的なルールを整理する必要性を認識している旨の発言があった。

続いて、梶田内閣審議官からは、特定秘密保護法の成立により、特定秘密に関しては、政府部内における管理体制がより強固になることとなったことを機に、その他の秘密情報に関しても、各省庁統一ルールの検討が課題となっている旨の発言があった。

○ 次に、座長の古谷副長官補から、関係省庁の課長級で構成される検討チーム幹事会を開催して検討していくことなど、今後の検討の進め方を含めて総括がなされた。

○ 最後に、杉田副長官から、政府としての統一ルールの策定に向けてしっかりと取り組まれない旨の発言があった。

以上